

第2学年 国語科学習指導案

2年

25名

指導者

神崎素子

1 単元名 「かさこじぞうお手紙集」を作ろう 「かさこじぞう」(東京書籍 2年下)

2 指導にあたって

(1) 単元設定の理由

本学級の学習者は、読書の好きな者が多く、読書タイムにはよるこんで本を読み、絵本の読み聞かせのときにも物語の世界に浸って楽しんでいる学習者が多い。また、学習者は音読が好きで、特に役割読みは楽しんで取り組んでいる。音読という言語活動を通して、登場人物の気持ちを読み取って音読に表そうとする学習者が多い。しかし自分一人で読むときに、深く物語を味わったり、場面を叙述に従って想像したりして読むことが課題となる学習者もいる。そこで、学習者の好んでいる音読を通して叙述に即して読む力と読み取ったことを表現する力を育てる単元・授業を展開できないかと考えた。既習の文学的文章を扱った単元「わたしだけのニャーゴ日記を作ろう」(「ニャーゴ」)では、場面ごとに「ねこ」の気持ちを読み取り日記風の文章に表し、一人一人が自分だけの「ニャーゴ日記」を作り上げた。「読むこと」と「書くこと」をつなげた学習は、読んだことが目に見えて作品として残り、学習者は、「またしたい。」という意欲をもつことができた。

本単元で扱う教材「かさこじぞう」は、思いやりの心を失わないじいさまとばあさまと、その優しさに応えたじぞうさまとの心の交流を通して、人間にとって本当の豊かさとは何かを考えさせられる物語である。本教材を読むことによって物語が醸し出す温かい雰囲気をしっかり味わわせたい。また、音読することによって昔話のおもしろさを体感させたい。本単元では、指導目標を達成するための言語活動として、手紙をとりあげる。手紙を書く活動は学習者にとって身近な物であるために、じいさまになって手紙を書くというめあてをもつことで、学習者はじいさまに同化して読みを深めていくことができるからである。

本単元では、「『かさこじぞうお手紙集』を作ろう」というめあてをもつようにし、場面の様子や登場人物の気持ちについて読み取ったことをもとにじいさまになって「気持ちカード」(じいさまの気持ち)を書く活動を行う。その際には場面の様子や登場人物の気持ちを読み取る手段として音読を用いる。役割読みをしながら、登場人物と同化しより深い読みに導きたい。そして場面ごとに「気持ちカード」を書きためていき、最後にじいさまになってじぞうさまへ手紙を書く。手紙にまとめることで、学習者は場面ごとの読みをもう一度物語全体を通して振り返ることができ、物語全体を眺めてのじいさまの心情の移り変わりや一貫した思いを書くこともできると考える。また、その後みんなの手紙を文集の形でまとめ「かさこじぞうお手紙集」に仕上げ、達成感をもつようにするとともに、互いの手紙を読み合い交流する。このような学習を通して、昔話の世界を味わうことや、音読の楽しさ・自分の読みから作品ができあがる喜びを感じ、今後の国語科学習や読書活動への意欲につなげたいと考え本単元を設定した。

本時は、第5場面を読み、じいさまの「気持ちカード」を書く。「じよいやさじよいやさ」やじぞうさまの歌など、音読の楽しい場面である。音読を楽しみながら、じぞうさまの歌の意味やじいさまの気持ちを読み取り、じいさまの「気持ちカード」を書くことができるようにしたい。

(2) 活用する力の育成を図るために

本単元における活用する力を育成する場は、第2次でじいさまになって「気持ちカード」を書く場と、第3次の登場人物にあてて手紙を書く場である。第2次に各場面の音読をし、場面や登場人物の心情を読み取っていくことを土台にして、学習者はじいさまに同化して「気持ちカード」を書いたり、手紙を書いたりする。その過程で、指導者は、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、その内容と自分の経験とを結び付けて、自分の考えをまとめる力を育成したい。本時は、第2次の第5時にあたる。ここでは音読を通してじいさまやじぞうさまになりきって読み、じいさまになって「気持ちカード」を書くことができるように、書き出しやヒントになることばのあるカードを用い支援を行う。

3 単元の目標

(1) 学習者の活動目標

「かさこじぞうお手紙集」を作ろう。

(2) 指導目標

自分が選んだり，紹介してもらったりして，昔話を楽しんで読もうとする態度を育てる。

場面の様子について，登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み，その内容と自分の経験とを結び付けて，自分の考えをもつことができるようにする。

想像したことについて，自分の考えが明確になるように事柄の順序に沿って文章を書くことができるようにする。

4 単元の評価

| | 評価規準 | 「十分満足できる」と判断される状況 「おおむね満足できる」状況にするための手だて | 評価の資料 |
|--------------------------|---|---|----------------------------------|
| 関心 ・ 意欲 ・ 態度 | 自分が選んだり，紹介してもらったりした昔話を楽しんで読んでいる。 | 自分の読みたい昔話を見付けて積極的に手に取り，いろいろな昔話を楽しんで読もうとしている。 いろいろな昔話のコーナーを設置し，個人の力に応じて読書を楽しめるようにする。 | ・学習者の様子 ・発言 |
| 読む | 場面の様子について，登場人物の行動を中心に想像を広げて読んでいる。 | 登場人物の行動や気持ちを表すことばや叙述に気付き，それに基づいて想像を広げて読んでいる。 行動や気持ちを表すことばや叙述を一緒に探したり，例示したりする。 | ・学習者の様子 ・発言 ・気持ちカード ・手紙 |
| | 文章の内容と自分の経験とを結び付けて，自分の考えをもっている。 | 自分の経験や読書体験と結びつけて想像を広げ，自分の考えをもっている。 挿絵を参考にしたり，友達の音読を聞いたりして想像を広げることができるようにするとともに，書き出しやヒントになることばのあるワークシートを使うようにしたりする。 | ・学習者の様子 ・気持ちカード ・手紙 ・発言 |
| 書く | 想像したことについて，自分の考えが明確になるように事柄の順序に沿って文章を書いている。 | 想像したことについて自分の考えが明確になるように，事柄の順序や，文や文章の組み立てを考えて文章を書いている。 書き出しや文例のあるワークシートを用意し自分にあったものを選べるようにする。 | ・学習者の様子 ・手紙 |

5 学習計画(全13時間)

| 学習活動 | 学習者の意識の流れ | 主な指導・支援 | 身に付けさせたい力 |
|---|--|--|---|
| <p>事前 朝の時間などに色々な昔話の読み聞かせを聞き、昔話に興味をもつ。</p> <p>第1次 (3時間) 学習計画を立てる。</p> <p>手紙を書くことを知る。</p> <p>第2次 (5時間) 「かさこじぞう」を5つの場面に分け想像しながら読み、じいさまになって、「気持ちカード」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・の場面を音読し、じいさまの気持ちを書く。 ・の場面を音読し、じいさまの気持ちを書く。 ・の場面を音読し、じいさまの気持ちを書く。 ・の場面を音読し、じいさまの気持ちを書く。 ・の場面を音読し、じいさまの気持ちを書く。 ・の場面を音読し、じいさまの気持ちを書く。 <p>(本時5/5)</p> <p>第3次 (2時間) 「気持ちカード」の中からじぞうさまに伝えたい気持ちを選び、じいさまになって手紙を書く。</p> <p>第4次 (3時間) お手紙集を完成させ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙を付け、裏表紙には好きな場面を視写する。 ・友達の手紙を読み、じぞうさまになって返事を書く。 <p>・もう一度音読を楽しむ。</p> | <p>先生が読んでくれたいろいろな昔話、ゆっくり読みたいな。</p> <p>教科書の「かさこじぞう」も昔話だね。</p> <p>「ニャーゴ日記」を作って楽しかった。「かさこじぞう」でも何か作りたいな。</p> <p>「かさこじぞう」っておもしろいな。「かさこじぞう」の学習で何か作りたいな。</p> <p>じいさまとばあさまの優しい気持ちが伝わってきたよ。</p> <p>じいさまはどんな気持ちでじぞうさまにかさをかぶせたのかな。</p> <p>「じよいやさじよいやさ」がおもしろい。音読したいな。</p> <p>じいさまになって、物語の終わりにじぞうさまへの手紙を書こう。かさこじぞうお手紙集を作ろう。</p> <p>手紙を書くためにじいさまの気持ちを読み取ってこよう。</p> <p>役になって音読したら、気持ちも分かるよ。</p> <p>お手紙集ができるんだね。楽しみた。がんばろう。</p> <p>の場面を音読して、気持ちカードを書こう。</p> <p>の場面を音読して、気持ちカードを書こう。</p> <p>の場面を音読して、気持ちカードを書こう。</p> <p>の場面を音読して、気持ちカードを書こう。</p> <p>の場面を音読して、気持ちカードを書こう。</p> <p>の場面を音読して、気持ちカードを書こう。</p> <p>「じよいやさじよいやさ」あの声はなんだろう。重い物を運んでるぞ。</p> <p>かさこやてぬぐいをかぶってくれている。あのじぞうさまたちだ。ありがたいなあ。</p> <p>ばあさま、もちこもにんじんもあるぞ、楽しいお正月じゃ。よかったのう。</p> <p>じいさまの気持ちカードがたくさん書けた。この中から選んで、じぞうさまに手紙を書こう。</p> <p>じぞうさま、「じよいやさ…」と聞こえたときはびっくりしたよ。</p> <p>じぞうさま、あのときは寒かったですよ。かさこが足りなくてすまなかった…。</p> <p>ばあさまがとってもよこんでいる。じぞうさまありがとう。…</p> <p>手紙が書けた。さあ、みんなの手紙を1冊のかさこじぞうお手紙集にしよう。</p> <p>友達のお手紙を読んでじぞうさまになって返事を書こう。</p> <p>びっくりさせてしまったね。でもたくさん届けたかったから…</p> <p>寒いところを助けてもらって、本当にありがとう。うれしかった。</p> <p>いつまでもばあさまとかよく暮らすのだよ。</p> <p>こうやって物語を読むとおもしろかったね。かさこじぞうお手紙集もできてうれしいな。</p> <p>お手紙を入れてもう一度音読してみようよ。</p> | <p>朝の読書の時間にいろいろな昔話の読み聞かせをする。学級文庫にも昔話をそろえておく。</p> <p>物語の挿絵を提示することにより挿絵と見比べながら話の内容を読み取るようにする。</p> <p>単元の目標を明確にすることにより、学習への意欲をもつことができるようにする。</p> <p>時間を表すことばや場面の变化に注目させ、時間や事柄の順序をとらえながら、5つの場面に分かれることに気付くことができるようにする。</p> <p>会話文や前後の文章に着目することにより、その場面にふさわしい会話文の読み方ができるようにする。</p> <p>友達の音読を聞いたり、自分で役になって音読したりすることで、想像することができるようにする。</p> <p>気持ちカードを書くときは、大切なことばを確認し、書き出しを示す支援をする。</p> <p>気持ちカードができあがるごとに紹介し、自分の表現に取り入れることができるようにする。</p> <p>書きためた気持ちカードから2~4枚選び出すことにより、書く内容を定めることができるようにする。</p> <p>カードを置き換えることにより、どの順序がよいか考えることができるようにする。</p> <p>自分の書きたい内容を発表したり、その理由を本文に戻って考えたりすることにより、自分の読みを確認し、書こうとすることができるようにする。</p> <p>書き出しや文例を示したワークシートを選べるようにすることにより、書きたい内容を書くことができるようにする。</p> <p>できあがった手紙集を振り返る観点を示すことにより、達成感や充実感を味わうことができるようにする。</p> | <p>興味をもっている本を見つけ、進んで読む。</p> <p>時間や事柄の順序をとらえながら読む。</p> <p>物語の大体が分かり、学習の見通しをもつ。</p> <p>時間や事柄の順序をとらえながら読む。</p> <p>ことばのリズムや響きのよさを味わいながら音読を楽しむ。</p> <p>具体的な表現から想像を広げながら読む。</p> <p>感じたことや思ったことを書き添える。</p> <p>友達の感想や意見にふれる。</p> <p>自分の書きたいことを見つける。</p> <p>書きたいことの順序を整理する。</p> <p>文章の内容と自分の経験を結びつけ、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>伝えたいことがわかるように文や文章の組み立てに気を付けて書く。</p> <p>自分や友達の考えのよいところに気付く。</p> |

6 本時の学習

(1) 目標

学習者の活動目標

じぞうさまがやってくる場面を読んで、じいさまになって「気持ちカード」を書こう。

指導目標

じぞうさまが真夜中にやってくる場面の様子や、じいさまばあさまがよい正月を迎えることができたことと喜びの気持ちについて、じいさまになって想像を広げながら読み、読み取ったことへの自分の考えを書くことができるようにする。

(2) 展開

| 学 習 活 動 | 指 導 ・ 支 援 | 具 体 の 評 価 規 準 | 評 価 の 資 料 |
|--|--|------------------------|-----------|
| 1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 | 前時に書いた「気持ちカード」を紹介し、学習のめあてを確認することができるようにする。 | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> じぞうさまがやってくる場面を音読して、じいさまになって「気持ちカード」を書こう。 </div> | | | |
| 2 5の場面の役割読みをする。 ・大事なことばや叙述をもとに会話やかけ声をどのように音読したらよいか話し合う。 | じぞうさまがじいさまだけでなくばあさまをも探している理由を考え、歌の意味を知り音読できるようにする。 「よい正月」とはどんな正月か考えさせ、じいさまとばあさまの驚きと喜びを想像できるようにする。 | 場面の様子や登場人物の気持ちを想像している。 | 音読 発言 |
| 3 役割読みをしながら話し合ったことをもとに、5の場面のじいさまになって「気持ちカード」を書く。 | 書き出しや文例があるカードを用意し、選ぶことができるようにする。 | 読み取ったことへの自分の考えを書いている。 | 気持ちカード |
| 4 「気持ちカード」の一部または全文を発表し、本時の学習を振り返る。 | 次時は物語全部を通して音読し、物語の最後に付けるじいさまからじぞうさまへの手紙を書くことを確認する。 | | |

(3) 本時の評価

| | |
|------------------------|--|
| 「十分満足できる」と判断される状況 | 場面の様子が分かる叙述から、場面の様子やじいさまの気持ちを想像し、自分の考えをじいさまになり「気持ちカード」に書いたりしている。 |
| 「おおむね満足できる」状況にするための手だて | 書き出しや、文例があるカードを用意する。 |